

ひらんぽ



枚方まつり2014

ひろげよう枚方の絆～そして未来～

8月23日(土)、24日(日)に開催された「枚方まつり」に、ひらかた市民活動支援センターと登録団体も出展しました。枚方市と四万十市との友好都市40周年を祝って、新町ふとん太鼓と、四万十提灯台も参加し、盛大に行われました。



助成金の申請準備に

入る時期ですよ！

NPO法人は慢性的に資金不足・色々やってみたくて備品が足りなかつたり、講師にお支払いする資金がなかつたりと、新しいことをスタートする時には何かと資金が必要ですよ。

実は今からの時期にNPO活動を支援してくれる助成金が多く募集がかかる時期です。市民活動に必要な助成金の申請時期は大きめに2回！6月頃と11月頃です。

助成金は、第一に自分たちの活動にあった助成金を選びましょう。金額・テーマ・条件は助成団体によって違います。次になぜ助成金が必要かを考える。基本的に助成金は①新規事業を始める時、②現在の事業を大きくされる時、このタイミングで申請をしていくことが重要です。

最後に助成金頼みになっている事業は審査の段階で外されるケースが多いですよ。しっかりと中長期的なビジョンを持って、「今は助成金が必要だが、この後、このような収入が出てくるため、助成金は必要なくなり、継続した事業展開ができます！」というところをしっかりと申請書に書き込んでください。この時、作文力も問われます。

助成金情報

今後、募集が始まる助成金情報の一部です。

【子ども】

国立青少年教育振興機構・子どもゆめ基金(6/28、12/5)

【地域コミュニティ】

日本たばこ産業(11/20)

【地域文化振興】

三菱UFJ信託地域文化財団(11/30)

【シニアの活動】

日本生命財団(11/15)



上記以外で、助成金情報を知りたい方には「公益法人助成財団センター」が発行している「助成財団-NPO・市民活動のための助成金応募ガイド」がお勧めです。助成団体や助成金情報が満載です。

<http://www.jfc.or.jp/index.html>

その他、ひらかた市民活動支援センターでは、下記の講座開催やファンドの募集も行っています。各種ご相談も受け付けていますので、ご利用ください。

助成金は、取れている団体はいつも取れている、取れない団体はいつまでたっても取れていません・・・。「なぜ必要か！」が必要ですよ！助成金を出す側も継続して事業が展開されるかを見ています。それと、助成金が取れた後の報告書の作成義務も発生しますので、しっかりと領収証の保管、名称、金額、日付のチェックも怠らないように。

(高井 啓太郎)



2014年度(第10回) 地域貢献NPOサポートファンド ぶれあいファンド 助成および表彰事業募集のご案内

(特活)ひらかた市民活動支援センターでは、枚方市を主たる活動場所とし、市民に評価され継続的に活動している団体の事業に対し助成・表彰を行い、市民活動の発展に寄与することを目的とする「地域貢献NPOサポートファンド(ぶれあいファンド)」を創設。

今年度も当センター会員団体・登録団体から、助成・表彰事業を募集します。

【対象事業と助成・表彰額】

1. 企画提案型 (新たに実施する事業に対して)
助成総額：18万円以内
2. 活動実績型 (活動実績5年以上の事業に対して)
表彰額：3万円 (1事業のみ)

【募集期間】 2014年9月14日(日)～10月20日(月)

【説明会】 日時：2014年9月16日(火)15:00～16:00

場所：サプリ村野 北館3階 交流室

【申込・問合せ先】 (特活)ひらかた市民活動支援センター

TEL：072-805-3537

FAX：072-805-3532

Eメール：info@hirakatanpo-c.net

9/29 (月)

審査員経験者に聞く！

助成金・補助金 獲得講座

助成金・補助金の審査員が、申請書やプレゼンテーションのどんなところを見ているのか？審査員経験者から、採択されるためのポイントを聞きます。



日時：9月29日(月) 18:30～20:00

場所：サプリ村野 南館2階 市民活動研修室

参加費：1000円(資料代込)

定員：30人

申込・問合せ先：(特活)ひらかた市民活動支援センター

TEL：072-805-3537

FAX：072-805-3532

Eメール：info@hirakatanpo-c.net





辻野 忠さん (インタビュー／文・西川 史朗)

自らのカラダの声に耳を傾けることで、ココロを知ると日々の生活が変わる。そう提唱し、セラピーの普及のため活動を続ける「NPO法人日本パーソナルセラピー協会大阪支部」の代表、辻野忠さんにお話を伺いました。

繊細なココロの幼少期



1966年に生まれ、東住吉区で育ちました。元気な子どもでしたが、非常に繊細な部分もあり、大人や社会など、何か巨大な存在に脅かされる夢にうなされることが度々ありました。恐ろしい体験でした。当時、母にも「おまえは生きづらさを抱えていくだろう」と言われていました。生まれながらに繊細なココロのテーマを持っていくように思います。

私が8歳のとき両親が離婚。貧しい暮らしでしたが、陽気な母のお陰で明るい家庭でした。その一方で母は感情が激しく、理屈っぽい私と頻りに衝突。そんな時、母は家出や突発的な行動を取るなど不安定なところがありました。当時「母子家庭」子どもが不良化」と見られる風潮があり、周りの目を常に気にしていた私は、見返してやるという気持ちから勉強に励みました。

精神的限界だった青年期

甲斐あって富田林高校に進み、自由な校風のもとテニス部の活動に明

け暮れました。一方、学業は疎かになり大学受験に失敗。それまでは母子家庭であることで感じていた負い目から良い成績を取り、それが自分の拠り所だったので、精神的に追い詰められました。しかし、貧しいながらも少しずつ貯金をしていた母のお陰で予備校に通い、必死で勉強した結果、翌年大阪市立大学に合格。母に感謝しています。

卒業後、早くから海外進出し社会貢献事業も展開していた大手電器メーカーに就職。10年勤務しました。途中1997年に精神的に限界を感じ、うつのため休職。ほぼ数カ月寝床から起き上がれない生活を送っていました。

自分で選択する生き方へ

そんな時、後に私の師となる心理療法師の新聞記事を目にしました。

「自分の思いが未来を作る。イメージしたことが現実化する」。環境や境遇が人生をコントロールすると考えていた私は、自分自身で未来を変えられるという記事に驚きました。これが私の人生切替えの瞬間です。

師のセッションに通い、セラピストとしての修行を開始。2000年に会社を退職、プロのセラピストとして個人事務所を開業し今年で15年目になります。当初はセラピーといっても、あまり社会では理解を得られ

ませんでした。そこで、私は目に見えない意識やココロだけでは不明確なところを、カラダや筋肉の反応で確かめるアプローチを取りました。カラダや筋肉は、私たちの毎瞬の意識やココロの状態に繊細に反応します。その後、社会事業として安心して受け入れてもらえるよう、2006年「NPO法人日本パーソナルセラピー協会大阪支部」を設立しました。

セラピーを活かしたまちづくりへ

セラピーを契機に、自分のカラダやココロの声に意識を向けることの大切さに気づき、それを習慣化することで日々を楽しく生きられるようになったという声を聞く、活動を続けてきてよかったと心から思います。私が人生を切り替える前後に感じたように、人生は相手や周りにコントロールされるのではなく、自身の内側の感覚カラダやココロと相談しながら、毎瞬自分の選択により創り上げていくものであることを伝え続けていきたいです。

今後は地元枚方に密着し、セラピーを活かしたまちづくり活動に注力したい。そのため学校や行政・企業等との連携や、他のNPOとのネットワーク作り、中立の視点を保ち、一人一人が異なる存在であることを尊重し、自覚的に生きることで、そんなまちづくりを実現したいです。



★NPO法人 日本パーソナルセラピー協会 大阪支部

HP : <http://jpta-osaka.jimdo.com/>

メールアドレス : info.osaka@jp-therapy.com

TEL : 072-845-5990 / FAX : 072-866-1662

旅立ちのコンサート

6月7日午後、枚方公園青少年センターで、「音楽でリフレッシュ！」主催のコンサートがありました。

ほぼ満席の会場が大きな歌声に包まれて「学生時代」の合唱が始まりました。元気がいっぱい、軽やかに力強く、いきなり「リフレッシュ」な雰囲気になったようです。

その後はハンドベルの演奏、会員の合唱など、出演者も観客も一体となって楽しめたひと時が、あっという間に過ぎて第一部が終わりました。

第二部の始まりは「絵本ライブ」で、絵本をスライドでスクリーンに映し出し、語り手が紙芝居のように台詞を付ける新しい企画のようで、主催者は、観客の反応が気になるようでした。

ピアノ演奏は本格的なクラシックの名曲を静かに楽しみ、最後はゲスト出演の大阪国際大学



吹奏楽部による軽快で力強い演奏で、会場は大いに盛り上がりました。アンコールにも応えていただき、看板通り「音楽でリフレッシュ！」な土曜日の午後でした。(写真／文・長島 信一)



音楽でリフレッシュ!

団体の活動報告

公益財団法人
アジア協会アジア友の会
北河内緑とふれあう会



御殿山神社を「あじさい神社」に

高台にあり、歴史と桜で有名な御殿山神社。広い境内をあじさいで、いっぱいにしようと、6月21日「御殿山神社を紫陽花で彩ろう！」が開かれました。御殿山神社とアジア協会アジア友の会北河内緑とふれあう会の協力で、今年は4年目。あじさいの里親制度があり、苗木を600円で購入。教えてもらいながら植えて、時々会いに来る。境内にはすでに去年までに植えたあじさいがあちこちに咲いています。里親の名と「元気に育つてね」というような一言がタグについています。

さあ、今年の植樹。まず、さし木の講習。マスターしてわが家も緑に！次はいよいよ植樹。すでに各所に穴が掘ってあり、指導する方々からコツを聞きながら苗木を植えます。水をバケツで連んだり、重労働。「毎年来るので私の花も咲いてますよ」とか、「初めてだけど先が楽しみ」とか、若い方、年配のご夫婦など皆さん汗だく。来年のあじさいの頃がまた楽しみです。

(文・高橋 佳子／
写真・長島 信一)



マネジメント講座 開催

熱中症予防講座



最近よくニュースにも取り上げられることを学ぶため、「熱中症予防とAED講座」が、6月16日に開催されました。まず、ポカリスエットでおなじみの大塚製薬(株)から講師に来ていただき、熱中症予防のための水分補給の大切さを解説していただきました。また、AED講座では、実際にAEDを使っての練習もあり好評でした。AEDは、

スイッチさえ押せば、アナウンスが流れ、誰でも操作できるもの。いざ人が倒れているのを見た時は、迷わず使ってみてほしいと思います。



プレスリリース講座

7月10日、(株)PRリンクの神埼英徳さんを講師にお迎えし、「プロに聞く！プレスリリース」を開催しました。新聞やテレビに取り上げてもうためのプレスリリースの必要性や、



記者との対応の仕方など、具体的な事例を交えた話は大変好評でした。これを機会に、市民活動をしている団体も、積極的に活動をプレスリリースし、マスコミにPRしていくことができればと思います。



留守家庭児童会室市民参画事業

今年度も7月22日から8月25日までの夏休み期間中、枚方市内の45の留守家庭児童会室で、17団体が23プログラムを実施しました。

新しく加わった団体も含めて、どの団体も、子どもたちが喜んで参加できるように、プログラムを工夫しており、楽しいひと時を過ごせたようです。子どもたちの熱気と、団体の熱心さで、少々時間オーバーすることもありましたが、日頃とは違う経験ができた子どもたちの目はキラキラしていて印象的でした。



これからも、NPOが、地域の子どもたちと自然とつながりをもつことができるような事業として続けていければと思います。



市民活動ネットワークルーム 展示スペースご利用の案内

サプリ村野の南館1階にある「市民活動ネットワークルーム」内で、ポスターや写真などの展示ができます。

- 対象団体：特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター会員団体および登録団体
- スペース：90×180のプラベニア板(半透明)3枚分
- 展示期間：最長2週間



市民活動ネットワークルームの入口



このコーナーの3枚が展示スペース

詳しくは、お問合せください。
ひらかた市民活動支援センター
TEL：072・805・3537

ひらかた NPO フェスタ 2014

日時：2014年9月21日(日)
場所：岡東中央公園
枚方市市民会館ほか

今年は、36団体の参加団体同士が協力し合って、4つの分野で46出展を行います。

- 国際ビレッジ
- 福祉ストリート
- 子育て祭
- 文化歴史ルーム



お楽しみがいっぱいのひらかたNPOフェスタにぜひお越しください

来場者の方へお願い

①会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用の上、お越しください。

②ごみゼロ大作戦！！

会場ではごみゼロのためにリユース食器を使用しています。使用後は返却をエコステーションへ

主催：(特活)ひらかた市民活動支援センター
ひらかたNPOフェスタ実行委員会2014
問合せ：072-805-3537

後援：枚方市・枚方市教育委員会
(社福)枚方市社会福祉協議会
協力：枚方フェスティバル協議会

ホームページリニューアル

8月から、ようやく新しいホームページがオープンできました。少しずつ内容を充実させて、情報提供を行っていきたいと思います。
<http://hirakatanpo-c.net/>



自治会での「防災小学校」の様子

今年も防災災害支援事業として、「防災小学校」を行っています。今年度は校区「ミニユニティ」だけでなく、自治会などでも「防災小学校」を実施していきます。校区の総合訓練もさることながら、より小さい地域で、より細かい防災確認の訓練をしたいという自治会の熱心の防災意識が高まっていくのを感じます。また、継続して取り組ん



宮城県気仙沼から直送の物産品



でいる「被災地支援事業」の一環として、「枚方まつり」で東北の物産を販売しました。今年にはインターンの学生が、気仙沼のふかひれスープと、枚方の恩地うどんをコラボさせた「ふかひれうどん」を販売し、好評を得ました。3年がたった今でも、東北を心配し、応援しようと思っている人たちは多く、商品もほぼ売完することができました。9月21日のNPOフェスタでも物産を販売しますので、ご協力お願いします。

編集後記

夏から秋にかけての暑さや涼しさで、体調を崩している方が多いのではないのでしょうか？秋は、NPO・市民活動団体が行う元気のでるイベントが目白押しです。WEBページや情報紙でもお知らせしていきますので、どんどん参加してくださいね。(編集者・S)

編集・発行：特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター
〒573-0042
大阪府枚方市村野西町5-1サプリ村野内
TEL：072-805-3537 / FAX：072-805-3532
Eメール：info@hirakatanpo-c.net
<http://www.hirakatanpo-c.net/>

